

KSKR

No. 320

2025
Apl.

4

奈良県自閉症協会 NEWS

きずな
The Kizuna<https://www.eonet.ne.jp/~asn/>

発行人：

関西障害者定期刊行物協会

編集人：奈良県自閉症協会

支部長&事務局：河村舟二

〒639-1005

大和郡山市矢田山町 84-10

購読料1部 100円

会員は会費に含まれています。



今年2025年4月2日も、郡山城天守台でブルーライトアップが行われました。世界自閉症啓発デーは、毎年4月2日に国連が定めた国際的な啓発の日です。この日は、自閉症や発達障害についての理解を深め、支援の輪を広げることを目的としています。この取り組みは、2007年の国連総会でカタル王国王妃の提案により決議されました。日本でも、世界自閉症啓発デー・日本実行委員会が組織され、シンポジウムの開催やランドマークのブルーライトアップなどの活動を通じて啓発を行っています。自閉症をはじめとする発達障害について知ることは、障害のある人々だけでなく、社会全体がより幸せに暮らせる環境を作るために重要です。この日をきっかけに、理解と支援の輪が広がることを願っています。奈良県においては、2017年（平成29年）以来、毎年欠かさず、大和郡山城天守台のブルーライトアップが行われていま

す。郡山城は、奈良県大和郡山市に位置する歴史的な城で、来年2026年放送予定のNHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」の主人公である豊臣秀長に深い関わりがあります。豊臣秀長は豊臣秀吉の弟であり、1585年に郡山城を居城として拡大・増築しました。この城は、彼が治めた大和国・和泉国・紀伊国の三か国にふさわしい規模に整えられたとされています。郡山城の特徴の一つは、石材不足を補うために「転用石」が多用されたことです。庭石や寺院の礎石、石仏などが石垣に利用されており、「さかさ地蔵」と呼ばれる逆さまのお地蔵様が石垣の一部として使われているのが有名です。また、現在、郡山城跡には展望施設が整備されており、天守台からの眺望を楽しむことができます。柳澤神社や郡山城南御門など、城に関連する歴史的な建物も見どころです。このドラマを通じて、郡山城や豊臣秀長の歴史がさらに注目されることでしょう。大和

郡山市観光協会は、秀長の事績を巡ることができる「秀長さんまるとマップ」（A5判、三つ折り）を制作されています。NHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」の主人公に決まったことにちなんで、豊臣秀長の事績を歩いて巡るコースを紹介するマップで、マップには、近鉄郡山駅やJR郡山駅を起点に、秀長ゆかりのスポット8か所を歩いて巡るコースを紹介しています。1周約6キロで、マップの名前の通り、各スポットを「環状線」の駅に見立てて巡るイメージになっています。スポットは、郡山城跡のほか、秀長の菩提ぼだい寺「春岳院」や、秀長の墓所「大納言塚」、洞泉寺や源九郎稻荷神社などで、マップでそれぞれの見所を解説している。QRコードをスマートフォンで読み取ると、周辺の食事や土産の情報も見られる用になっています。みなさまも興味があれば、ぜひ訪れてみてください。（河村）



世界自閉症啓発デーやまと郡山城天守台ライトブルーアップ参加のお礼

4月2日はお疲れ様でした。本年も、4月2日の世界自閉症啓発デーには、大和郡山市のご協力とお力添えを得て、「お城まつり」会場の天守台石垣や夜桜のライトアップブルー恵まれた背景で、理解と啓発のリーフレット配布と場内アナウンスをさせていただきました。

市役所前には、期間前より「世界自閉症啓発デー」「発達障害者啓発週間」への理解と啓発の大きな垂れ幕も掲げていただいております。

3月末の寒暖差の激しい気候や、当日午後からの雨に、少々不安もありましたが、当会会員、ディアーさんはじめ、毎年必ずご参加くださる会員外のボランティアの方や支援者の皆様の参加を得て、無事、和やかに理解と啓発の呼びかけ—autism speaks—をさせていただきました。

お城まつり会場での恒例の活動を覚えてくださり駆けつけ、飛び入り参加くださる方、自閉症・発達障害に関心を持たれる方、2018年のならウォークにご参加して下さった方などもブースに立ち寄ってくださり、大変うれしく思いました。

徐々にではありますが、『世界自閉症啓発デー in なら』として、お城まつりの夜桜と天守台のライトアップブルーは、県内の自閉症啓発デーのシンボルとしてランドマークとなってきたと感じられました。

今年は、会場で着用していただくautism speaksのロゴ入りの青いブルゾンを作成させていただきました。また毎年ブースを明るくするために準備しているコンサートライト(サイリウムライト)を、今年はリーフレットを受け取ってくださるお子様連れのかたやご希望の方に点灯してお渡しさせていただきました。それを持って天守台に上がられると、遠くからもほんのりブルーに光ってライトが見え、時間を追うごとに数が増えていいきました。

また、河村理事長宛て上田市長からの直筆のお便りは、心温まる内容で、会員のみなさまメーリングリストにてお伝えいただきました。

最後になりましたが、あらためまして本年もお力を貸していただきました大和郡山市役所関係者の皆様、ボランティアにご参加いただいた皆様へ、感謝の気持ちを込めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

（湯淺）

奈良県自閉症協会

河村舟二様

上田 清

前略

こんにちわ。

ご無沙汰していますが、お変わりありませんか。

さて、本日は世界自閉症啓発デーに関連して「郡山城天守台ブルーライトアップ」が行われる日ですね。あっという間に一年、早いものですね。今年も準備、大変だったと思いますが、お天気も良さそうで喜んでいるところです。ただ、私の方は、どうしてもはずせない用事で今回は参加することができず、大変残念に思っているところです。

誠に申し訳ありません。

”皆勤賞”？途切れてしまいました。

ご盛会とブルーライトアップの趣旨が一人でも多くの方に伝わることを願っています。 草々

令和7年4月2日

奈良県障害者計画策定

関係団体代表者様

平素は大変お世話になっております。

奈良県障害福祉課自立支援係です。

標記につきまして、令和7年度から令和11年度までを期間とする奈良県障害者計画を策定しましたので周知いたします。

このたびの策定にあたり、意見交換会等で様々な貴重な意見をいただき、この計画を策定することができましたことに深くお礼申し上げます。

つきましては、奈良県のホームページ上にて計画を公表させていただいておりますので、下記リンク先からご確認いただければと存じます。

奈良県福祉保険部障害福祉課

〒630-8501 奈良市登大路町30番地

TEL：総務・施設係 0742-27-8514

共生推進係 0742-27-8922

自立支援係 0742-27-8513

こども発達支援係 0742-27-8512

FAX：0742-22-1814

ホームページ http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-1834.htm

<https://www.pref.nara.jp/item/321068.htm>

また、計画冊子につきましては別途郵送させていただきますので、ご査収ください。

今後も引き続き障害者施策の推進にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



NDFからの情報（河村）

2024年、千葉県で、自宅で介護していた重度の知的障害のある44歳の次男を殺害した罪に問われた78歳の父親に対して、千葉地方裁判所は「十分な支援が受けられないかなり追い詰められた状況で、被告だけを責めるのは酷というべきだ」などとして執行猶予が付いた有罪判決を言い渡しました。先日12日に千葉地裁で判決のあった、昨年7月に知的障害のある子どもを父親が窒息死させた千葉県長生村の事件について、日本障害者協議会の藤井克徳代表の寄稿が東京新聞に掲載されましたので共有します。全文を閲覧するには有料になりますが以下の東京新聞のサイトからも閲覧できます。途中までは無料公開されています。

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/393019?rct=metropolitan>

事件の内容についてはNHKのNEWSwebを御覧ください。

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20250312/k10014747591000.html>



自閉症のひとを支援する方のための連続講座 全5回

自閉症児者 支援者養成

オンラインクラスルーム2025

リピーター多数！
受講者さまの声

改めてASDの特性理解は支援の基礎になると感じました。時折振り返らないと支援がブレてしまっていて、彼らにとって不安の多い環境になってしまうことが怖いと感じました。

似たような困っている場面が重なることもあり、身近に感じました。支援者が陥りやすい良くない考え方を自閉症の学習スタイルからこんなふうに変えていきたいと思います。ありがとうございました。

今年度13回目を迎えるこの講座は、ASD（自閉症スペクトラム障害）を持つ方への支援について、基礎から体系的に学ぶことができ、事業所の基礎研修にも最適と毎年ご好評をいただいています。今年度は、知的障害を伴わないタイプのASDの方への支援に関する講義も行います。また、支援者向けの内容となりますが、保護者の方も受講いただけます。

プログラム 時間：19:00-21:00

- 第1回
6.18 (水) 自閉症の理解
：診断特性と学習スタイル
- 第2回
7.23 (水) 自閉症の評価
：個別的な理解に基づく計画立案
- 第3回
9.10 (水) 自閉症の支援①
：分かりやすい伝え方と視覚支援
- 第4回
10.15 (水) 自閉症の支援②
：表出面の支援
- 第5回
11.19 (水) 知的な遅れがない自閉症の人への
支援を考える



講師 重松孝治氏

川崎医療福祉大学医療保育学科 講師

大阪教育大学教育学部障害児教育専攻卒業。同大学院修士課程修了。大阪府立の特別支援学校教諭を経て、2007年より川崎医療福祉大学・医療福祉学科講師。2014年より現職。滋賀では毎年支援者養成クラスルームの講師を務める。TEACCH®上級コンサルタント

対象 自閉スペクトラム症の人たちを支援する立場の方
(支援者向けの内容ですが、保護者の方も受講可能です。)

会場 Zoomによる配信 **定員** 50名程度(先着順)
*期間限定見逃し配信あり

受講費 お一人¥15,000 (税込・全5回一括のみ)

お申込み
はこちら

しめきり

5/20(火)



個人情報取り扱いについて：個人情報保護法に準じ、目的以外には使用いたしません。

お問合せ



NPO法人滋賀自閉症研究会たんぽぽ

〒525-0031 滋賀県草津市若竹町2-8



SITE



Facebook

NPO法人滋賀自閉症研究会たんぽぽは「自閉スペクトラム症児・者が、必要な時に適切な援助を受け、普通に地域で生き生きと暮らせる滋賀」を目指して1996年より活動しています。自閉スペクトラム症の正しい知識の啓発や適切な療育の提供に関するさまざまな事業を行っています。

講師プロフィール・講義内容詳細



第1回・第2回

諏訪 利明 氏

川崎医療福祉大学医療福祉
学科 准教授
TEACCH®公認上級コンサル
タント

1986年上智大学大学院心理コース修了。社会福祉法人県央福祉会県央療育センター、海老名市立わかば学園を経て、2012年4月より現職。公認心理師。TEACCH公認上級コンサルタント。授業の他に発達障害学生の面談や地域の保育園や学校、事業所へのコンサルテーションや研修に携わっている。

第1回 障害って何？

7.26（土） ASDに関わるその前に知っておきたい5つのこと

「障害」と聞くと、皆さんはどのようなイメージを持ちますか？いつのまにか彼らは特別な助けが必要な、特別な人のように思っていますか？そんな心のうちに、差別や偏見も入り込んでくるので、理解するのが本当に難しい言葉だと思います。もっとシンプルに当たり前にとらえてみませんか？

第2回 ASDって何？

9.13（土） ASDの人たちの可能性を引き出すために知っておきたい5つのこと

かつてはASDの人たちにみんな苦労しました。かみ合わないのはきっと「彼らがASDである」ということを忘れてたんだと思います。今は、もう多くの人々が彼らの「違い」を理解し、「ASDから考える」ことによって彼らの可能性をどんどん引き出せるようになりました。ASDの基本的特性をここで復習しておきましょう。



第3回

檜尾 めぐみ 氏

NPO法人発達障害サポート
センターピュア理事長
大阪府中小企業家同友会副
代表理事

2006年にNPO法人を設立し理事長に就任。2008年より現在に至るまで発達障害児者の施策にまつわる東大阪市政との協働事業に参画し続けている。日本自閉症スペクトラム学会での発表多数。2012年より経済界との繋がりに重きを置き中小企業家同友会に入会し現在副代表理事に就任している。

第3回 「自立したい、人の役に立ちたい」

10.25（土） 自閉スペクトラム症のある人の自己実現のために
幼児期・学齢期・成人期をつなぎ、生涯一貫した支援体制を

一人一人の特性に合わせた支援を行っています。とりわけ強度行動障害のある方の支援に力を入れており、幼児期・学齢期・成人期を繋ぎ、一貫した支援体制を構築しています。「自立したい、人の役に立ちたい」という彼等の想いの実現のために20年ビジョンを定め、生き生きと社会参加できる街づくりに取り組んでいます。

個人情報取り扱いについて：個人情報保護法に則り、目的以外には使用いたしません。

お問
合せ



NPO法人滋賀自閉症研究会たんぽぽ

🌐 <https://npotanpopo.jimdofree.com/>

📍 〒525-0031 滋賀県草津市若竹町2-8



SITE



Facebook

NPO法人滋賀自閉症研究会たんぽぽは「自閉スペクトラム症児・者が、必要な時に適切な援助を受け、普通に地域で生き活きと暮らせる滋賀」を目指して1996年より活動しています。自閉スペクトラム症の正しい知識の啓発や適切な療育の提供に関するさまざまな事業を行っています。

2025年度 自閉スペクトラム症にかかわる方のためのオンライン連続セミナー

いま、改めて自閉症支援を考える

～その人らしく地域で暮らすために～

自閉症の人たちへのサポートが広がっている今、少し考えてみたいことがあります。「常に守ってあげなければいけない存在」として見るのは本当に正しいのでしょうか？支援を学ぶ前に、私たち全員が障害について深く考え、新しい視点を持つことが大切です。このセミナーでは、みんなで一緒に考え、サポートや理解をより深めていきましょう。

（公財）日本社会福祉弘済会 助成事業



第1回
7/26
sat

障害って何？

ASDに関わるその前に知っておきたい5つのこと

第2回
9/13
sat

ASDって何？

ASDの人たちの可能性を引き出すために知っておきたい5つのこと

講師：第1回、第2回とも 諏訪 利明 氏

川崎医療福祉大学医療福祉学科 准教授 TEACCH®公認上級コンサルタント

第3回
10/25
sat

「自立したい、人の役に立ちたい」 自閉スペクトラム症のある人の自己実現のために 幼児期・学齢期・成人期をつなぎ、生涯一貫した支援体制を

講師：檜尾 めぐみ 氏

NPO法人発達障害サポートセンターピュア理事長 大阪府中小企業家同友会副代表理事



お申込みはWebから！

申し込み締め切り
6/15
sun



対象 ASDにかかわる全ての方

会場 Zoom
★期間限定見逃し配信あり

定員 100名(先着順)

時間 13:00~15:30

受講料 価格は3回分一括のみ・税込

一般：12,000円

賛助会員(個人・団体)：8,000円

正会員：無料 要申込



NPO法人滋賀自閉症研究会たんぽぽ

関係者の皆様

2025年3月21日
般社団法人日本自閉症協会
会長 市川宏伸

T シャツで繋がろう！ 啓発デーを盛り上げよう！

チャリティーT シャツプロジェクトご協力お願い（期間限定販売）

【好評により、4月30日まで継続販売中！】

皆様 平素より大変お世話になっております。

私共一般社団法人日本自閉症協会は、自閉スペクトラム症についての理解啓発に日々努めております。

今回、国連で定めた4月2日の世界自閉症啓発デーに関連して、チャリティーT シャツプロジェクトを展開し、一般の方たちにもより理解が広がることを目指しています。

3月10日から16日までのキャンペーンは終了しましたが、ご好評につき世界自閉症啓発デーのある4月末まで引き続きチャリティーグッズを販売しております。

ぜひこの機会にご協力をいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

【販売期間】4月30日（水）24時まで

（期間外は別団体の紹介となっていますのでご注意ください）

【販売 HP】 JAMMIN の HP のみ販売。 ▼ <https://jammin.co.jp/c/charityfor/autism>

★ 売上の20%が当協会への寄付となります。

★ T シャツ以外にも、バックやポーチなどもございます。

【担当・販売期間前の問い合わせ先】

一般社団法人 日本自閉症協会 〒104- 0044 東京都中央区明石町 6-226F
事務局長 樋口美津子 電話 03-3545- 3380 Fax03- 3545- 3381
mail asj@autism.or.jp HP <https://www.autism.or.jp/>

老障介護…次男殺害 本質は

昨年7月、長生村の自宅で重度の知的障害がある次男＝当時(44)＝を窒息死させたとして殺人罪に問われた父親(78)に千葉地裁は12日、懲役3年、執行猶予5年の判決を出した。公判では、障害者支援施設の空きがなく、父親が介護に限界を感じて思い詰めた経緯も明らかに。障害者政策を当事者の立場で提言する日本障害者協議会の藤井克徳代表(75)＝写真＝は「家族に自己責任を負わせた結果」と指摘する。事件が映す社会の課題について寄稿してもらった。

「自己責任」が生んだ悲劇

日本障害者協議会代表 藤井克徳さん寄稿



ふじい・かつのり 1949年、福井市生まれ。青森県立盲学校高等部専攻科卒。70～82年、東京都立小平養護学校(現都立小平特別支援学校)に教諭として勤務。在職中に、共同作業所全国連絡会(現きょうざれん)の結成に参加する。同校を退職後、共同作業所づくりなどの障害分野の民間活動に専念。精神障害者を対象にした日本初の作業所「あさやけ第二作業所」施設長などを務める。近著は詩集「心の中から希望が切り離されないように」(合同出版)。

「またぞろ起きてしまった」、長生村での障害者殺害の第一報に接した時の思いである。殺めたのは高齢の父親であり、犠牲になったのは障害のある40代半ばの息子だった。いわゆる「老障介護」の状態にあった。おそらくは、無抵抗状態での絶命だったように思う。いかなる理由をもってしても絶対にゆるすことはできない。

その上で、見落としてはならないことがある。それは事件の背景だ。事件を事実と真実に区分けできるとしたら、事実が殺害事件そのものであり、真実は背景と置き換えてよからう。そして、この背景にこそ事件の本質が潜んでいる。

強まる社会からの孤立

「家族への依存」が前提でない支援を

背景に踏み込まぬ判決
千葉地裁の判決が言い渡された。量刑については釈然としな

い。おそらくこのようであったも釈然としなからう。仮に父親が減刑になれば犠牲者の命を軽んずることになり、逆に刑が重くなれば背景の追求が鈍化しかねない。加えて残念なのは、判決が肝心の事件の本質や背景の深掘りに及

「自助」が重なり、より吹聴されることになる。自己責任や自助が声高になるほど、とりわけ障害の重い人とその家族は、行政や社会からの距離を余儀なくされる。乖離にすぐさま忍び寄るのが自身の狭さと孤立の影である。

被告の家族は神奈川県内で懸命に生きてきた。当事者にしか感じられない乖離は募る一方。「最後の賭け」が長生村への転居だった。新天地も甘くなかった。万策が尽きたのだらう。絶望的な孤立感の中で、禁じ手を放ち、父親もまた自ら「社会的な死」の道に分け入っていったように思う。

長生村の老障介護殺人 一審千葉地裁判決によると、2024年7月4日夜、自宅で暴れた後に倒れ込んだ次男の首に、父親がテレビのコードをかけ、窒息死させた。父親は、神奈川県立障害者支援施設「中井やまゆり園」の短期入所者を利用しながら介護。体力の限界を感じて長期入所先を探したものの、見つからなかった。妻と次男と長生村に引越して約1カ月後、事件が起きた。

神田裕子著の『職場の「困った人」をうまく動かす心理術』（三笠書房）について

2025年4月18日

一般社団法人 日本自閉症協会

会長 市川 宏伸

4月22日発売予定の新刊「職場の『困った人』をうまく動かす心理術」（三笠書房）は障害に対する誤解を生み、差別や偏見、分断を助長するものと判断します。このような本を、90年を超える歴史がある三笠書房が発刊されることは誠に残念です。

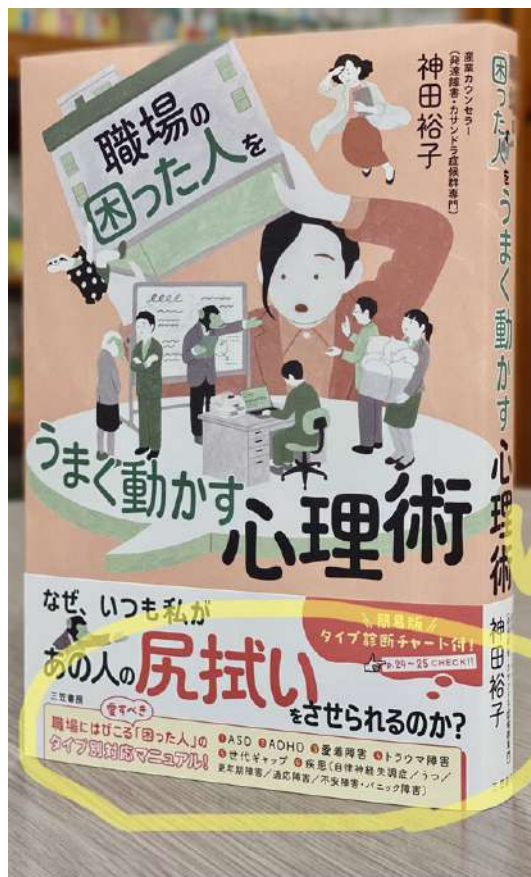
現在、この本は表紙と帯、および目次をネット上で見ることができますが、それでも差別や偏見を助長すると判断する理由は以下の通りです。

1. ASD（自閉スペクトラム症）や ADHD（注意欠如多動症）の発達障害を一方向的に「困った人」として扱っていることは誤解を生みます。
2. 障害名を人のタイプに結び付けているために障害に対する誤解を生むとともに、表現されている特徴を有する人を障害者とする偏見をも生みます。
3. ASD の特徴として「異臭を放ってもおかまいなし」や ADHD を「同僚の手柄を平気で横取り」など特異な事例をことさら強調しているため偏見につながります。
4. 結果として ASD や ADHD の特性を有する人の尊厳を傷つけます。

大事なことは作者の差別意識の有無ではなく、本が当事者や職場、社会にどう影響するかです。作者や出版社はそのことをよく考えていただきたい。精神疾患などデリケートなテーマを扱う際に出版社は監修をいれたり、対象の人たちの受け止めを確かめるなど慎重な姿勢が求められます。

かかる書籍が、自閉スペクトラム症を含む障害のある人たちの人権を侵害するおそれがあることを懸念し、出版社が適切な対応をされることを期待します。

私たちは職場において、ASD や ADHD の特性を有する人もそうではない人も分け隔てなく良好な関係ができるよう引き続き努力するものです。 以上





ス 振 第 7 号令和7年4月2日

各施設・団体 各位

奈良県地域創造部スポーツ振興課長

プロ野球年間シーズンシート（アドバンスチケット）の配布について（案内）

県では、スポーツを「観る」機会を創出することで、スポーツへの関心を高めるとともに、スポーツを始めるきっかけとなるよう「プロスポーツの観戦の機会づくり」に取り組んでいます。昨年に引き続き、今年も障害のある方や子ども達にプロ野球を観戦していただけるよう、「京セラドーム大阪」及び「ほっともっとフィールド神戸」共通のプロ野球年間シーズンシートチケットを配布いたします。

つきましては、標記チケットを希望される場合は、別添の「プロ野球観戦チケット利用の手引き」をご確認のうえ、別紙1「利用申込書」により、4月16日までに県スポーツ振興課へお申込みいただきますようお願いいたします。

なお、チケットの枚数には限りがありますので、希望枚数の上限は、10枚まででお願いします。ただし、申込多数の場合には、ご希望に添えないこともありますので、予めご了承ください。

奈良県地域創造部スポーツ振興課

TEL：0742-27-8317 FAX：0742-23-7105

担当：峰本



でいあー連絡協議会（2025/3/25）

特定非営利活動法人奈良県自閉症協会

奈良県における発達障害者支援の課題

○医療との連携

- ・専門医療機関の不足：発達障害の診断や治療を行う専門医療機関が限られているため、適切な診断や治療が遅れている。
- ・情報共有の課題：医療機関と福祉機関、教育機関との間で情報共有が十分に行われていない場合があり、支援の一貫性が欠ける。

○家族・保護者の支援

- ・心理的負担：発達障害のある子どもを育てる家族は、心理的負担が大きく、支援が必要。
- ・情報不足：家族が利用できる支援サービスや制度についての情報が十分に提供されていない。
- ・交流の場の不足：同じ状況にある家族同士が交流し、情報を共有する場が不足している。

○足りない支援

- ・地域密着型の支援：地域ごとの特性に応じた支援が不足しているため、住んでいる場所によって支援の質や量に差が出ている。
- ・就労支援の強化：発達障害者が社会に参加しやすくするための就労支援がまだ十分ではない。
- ・普及啓発活動：発達障害に対する理解を深めるための普及啓発活動がさらに必要。

○奈良県では『でいあー』が医療機関、福祉機関、教育機関、地域社会が連携の窓口となり、イニシャティブを取ることに。

○他県に学ぶ

- ・東京都日野市の「かしのきシート」

日野市では、教育と福祉が連携し、発達障害のある子どもたちを切れ目なく支援する体制を整えています。独自の「かしのきシート」を活用し、教育と福祉の情報を統一して記録することで、関係者間の情報共有を円滑にしています。

- ・大阪府の府立高校通級設置

大阪府では、府立高校に通級を設置し、発達障害のある子どもたちが高校生活を送る際の支援を提供しています。これにより、進学への不安を軽減し、教員向けのガイドブックも作成して支援体制を強化しています。

- ・滋賀県の地域生活支援モデル事業

滋賀県では、発達障害者の地域生活支援を目的としたモデル事業を実施し、地域特性に応じた支援手法を開発しています。この取り組みは、他地域への普及も目指しています。

自治体例



厚労省モデル事業

日本自閉症協会 ML を通じて滋賀県自閉症協会の高木会長よりの情報、滋賀県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会のバリアフリー対策の1つとして、大会で初めて、障スポ全競技会場にカームダウンスペースが設置されるとの情報提供をいただきました。

▼ Youtube

【みんなが輝く大会に】わた SHIGA 輝く障スポ (第24回全国障害者スポーツ大会) を開催!!

https://youtu.be/-biAsZchd_8?si=PsMXpvhKfvQaC39

※カームダウンスペースについては2:27~

▼シャイン!!WEB 版

<https://shiga-sports2025.jp/magazine-shine/202503/#minaga>

高木会長は「カームダウン設置が啓発の一助となり、広く一般の方にも理解が進むことを願っています。」とのことでした。



東京都自閉症協会にて作成したショートムービーが公開されています。

【Happy with Autism プロジェクト 第一弾】

4月2日、世界自閉症啓発デーに12人の当事者が、カラフルな特性を語ったショートムービーを公開

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000003.000158424.html>



★令和7年度会費 納入のお願い

今年も梅の花が咲き始めると、ウグイスの鳴き声が聞こえ、春が来たなと散歩も楽しくなりました。これから土手のつくしや月末には桜の花が楽しみです。皆様は、どんな事を楽しんでいますか？さて、ご承知のとおり、東京本部へ(「いとしご」の配布料等)年度初(4/1)の在籍会員数で年会費を納入しますので、ご理解頂き、5月末日までに会費納入にご協力の

ほど、よろしくお願い致します。
会費・納入先は下記のとおりです。
(会費)

- ①個人正会員 ￥6000.-
- ②賛助会員 個人 ￥3000.-
法人 ￥10000.-

(振込先)

- ①ゆうちょ銀行
口座番号：00980-0-225697
名義：特定非営利活動法人 奈良県自閉症協会
- ②南都銀行郡山支店
口座番号：普通預金 1068978
名義：奈良県自閉症協会

代表者 河村舟二

*お願い：南都銀行に振り込まれる時、(シャカイフクシホウジンやトクテイヒエイリカツドウホウジン)等の法人格名は、記載しないで下さい。

*住所や名前の変更があれば、下記、理事長河村さんまでお願い致します。事務局：理事長 河村舟二
E-mail

kawafune@ares.eonet.ne.jp
電話 & FAX：0743-55-2763

発行人：関西障害者定期刊行物協会

住 所：〒543-0015

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F

編集人：奈良県自閉症協会

定 価：100円